

学校だより

令和3年12月発行 鳥羽商船高等専門学校
広報・公開委員会「広報誌専門部会」
三重県鳥羽市池上町1番1号 TEL 0599-25-8013



商船学科
カッター訓練



商船学科機関コースの
機関制御実習



情報機械システム工学科のPBL
(課題解決型学習) 実習風景



電子機械工学科の実習風景



制御情報工学科の高専プロコン前日の
作業風景

- 校長挨拶
- 新任教職員紹介
- 学科紹介
- 就職・進学状況
- 学生の活躍
- クラブ紹介
- 乗船実習
- 学生寮
- 国際交流プログラム
- 教員の活躍
- 学校行事
- 学校通信

校長挨拶

校長 和泉 充

4月から、着任しました。よろしく願い致します。

令和3年（2021年）は、第32回オリンピック競技大会（2020／東京）と東京2020パラリンピック競技大会が開催された歴史的な年でした。本校にとっては、校祖であり明治時代の6大教育家のひとりである近藤真琴先生が、明治8年（1875年）に東京に設置された攻玉塾（現在の攻玉社）に航海測量習練所を創設以来数えて146年目となり、この鳥羽の地に鳥羽商船を攻玉塾の分校として設立された年から140年目を迎えました。4月に新入生を迎え、6月には140年を記念して同窓会の主催により、平成30年に皇太子殿下が本校に行啓されたことを記念する「皇太子殿下下行啓記念碑」が除幕され、近藤真琴翁の紹介パネルの寄贈が行われました。9月には、商船学科卒業生33名と専攻科（海事システム学専攻）修了生2名を新たに送り出しました。令和8年（2026年）には本校が鳥羽商船高等専門学校として高専第1期生を航海学科、機関学科に迎えて以来、数えて60周年を迎えます。

本校の理念は綿々と受け継がれ、進取・礼讓・質実剛健の3つです。進取とは、志をもちながら、進んで物事にとりくんで行くこと。「できない」「難しい」ではなく「どうしたらできるか、目標に近づくか」が大切です。礼讓とは、他人に対し礼を尽くし相手を思いやること。質実剛健は、まじめでしっかりしていること。さて、学生みなさんは、入学あるいは進級、進学以来の月日を振り返ってどうでしょうか。楽しかったこと、迷ったこと、熱中したことなどいろいろあったと思います。それら全ての経験が今後歩んでいく糧となり原動力になります。1年生に「学校は楽しい」と話しました。学校が「学生の居場所」として在校生全員にとって、楽しいできごと、思い出が増えていく場となることを期待しています。

本校は今日まで、新型コロナウイルス感染症の感染の国内発生動向を注視し、校内や寮内で人から人への伝播、感染を起こさないことに注力してきました。9月の始業式では、毎朝の体温、健康チェックをはじめとする感染予防的感染予防への自覚と



取り組み、さらに、毎朝のベッドや布団の整頓、勉強でも、あるいは運動でも日々の励行による積み重ねの実感の大切さを話しました。今年の学生会のスローガンは「挑戦」です。ささいなことでも毎日の励行に挑戦することをお薦めします。毎日欠かさず行った満足感が、物事へ挑戦する自信となります。学校は、担任はじめ教職員の連携、保護者の方々のご理解とご協力のもと、学生みなさんとの不断の対話を通して、学習環境を改善し、授業や課外活動を安心・安全に行う努力を惜しみません。日々努力する頭脳と行動力、その積み重ねによる人間力を共に磨いていきましょう。友達を大事にし、環境を分かちあい、弱きを助け、志とともに日々新たな自信を持って前に進みましょう。「練習も大事だけど、もっと大事なのは自信を持つこと」―ハリーポッター―。

〈略歴〉

1983年筑波大学院博士課程物理学研究科物理学専攻修了（理学博士）。長崎大学講師、東京商船大学助教授、同学在任中仏政府給費留学生・仏国立科学センター（CNRS）外国人研究者、文部科学省短期在外研究員、キャンノン財団ヨーロッパ客員教授等を経て、1999年東京商船大学教授（現国立大学法人東京海洋大学）、海洋工学部海洋電子機械工学科・大学院海洋科学技術研究科、東京海洋大学理事・副学長（研究・社会貢献）、同学副学長（産学連携・広報）、同産学・地域連携推進機構長、東日本大震災後設置の三陸サテライト長等。2021年4月、独立行政法人国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校長、東京海洋大学名誉教授。IEEE/電気学会員など。

商船学科 准教授



山田 智貴

今年度、商船学科に採用となりました。山田智貴です。大阪府大に30年勤務し、今回ご縁をいただいて、こちらに参りました。

もともとの専門は船舶工学（造船設計）で、学生時代には自分は造船屋になるものと思っておりましたが、教員となつてから海域の環境問題にも取り組むようになり、近年は主に大阪湾をフィールドにしております。その間、何度かこちらに伺いする機会があり、歴史に裏打ちされた堅固な校風と豊かな自然環境に魅了され、「いずれは鳥羽で」との思いを抱いておりましたが、今回その願いが叶いました。

日直、クラブ顧問、再試験など未知の体験も多く、まだまだ不慣れですが、若い学生たちの希望が叶う一助となるよう、精進せねばと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。

情報機械システム
工学科 助教



中古賀 理

情報機械システム工学科の助教として着任いたしました。出身は長崎県の雲仙市で、

近くの有明海では様々な漁業が盛んです。そういった点では、この伊勢志摩とよく似た場所だと思えます。私自身も高専の出身で、福岡県の有明高専を卒業後、豊橋技術科学大学に編入いたしました。

コロナ禍でスタートした私の新社会人生活ですが、マスク姿の学生さんとしか接することができないのがとても残念です。早く皆さんの顔を覚えて、これまでの自身の経験も交えながら学生生活をサポートしていきたい所存です。よろしく願いいたします。

一般教育科 講師



シヨーン・チャールズ・ニコルソン

一般教育科で英語講師として着任したシヨーン・チャールズ・ニコルソンです。証書での名前は前記のとおりですが、ミドルネームのチャールズは書類上のものとし、いつも「ニコルソン」でおしています。博士号を修得してから、東京と横浜でいくつかの大学・研究機関にお世話になっていました。教える経歴は短いのですが、思わぬことに遠隔授業、対面授業、遠隔と対面のハイブリッドというさまざまな体験ができましたが、着任してから対面授業で学生と「学び」の場を再び共有できたこと、たいへん有難くおもっています。



一般教育科 助教



山中 郷史

令和3年4月1日付で一般教育科の助教として着任しました。出身は静岡県で、大学・大学院・博士研究員の間に北は宮城県、南は愛媛県まで日本全国を転々としていました。直線距離としては、本校が最も出身地に近くなりました。専門は観測天文学で、普段は宇宙に関する研究をしています。授業の質問だけでなく、宇宙について少しでも気になることがありましたら、気軽に物理学実験準備室に遊びに来てくれたら嬉しいです。物理学実験などを通して、物理って面白いな、と少しでも感じてもらえるような授業を進めたいと思っています。



学生課長



國枝 和代

本年4月1日付けで学生課長として赴任いたしました國枝と申します。

3月までは岐阜工業高等専門学校で勤務しており、総務・企画及び人事系を担当しており、各種会議やイベント等において鳥羽商船の皆様にもお世話になっておりました。

今までは工業のみの高専であつたため、長い歴史を持つ商船高専ならではのカリキュラムや規程等について、日々勉強させていただいております。

微力ではございますが、学生さんが健やかな学生生活を送れるよう尽力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

商船学科の紹介



商船学科長

窪田 祥朗

商船学科は、三級海技士の第一種養成施設として、航海士、機関士といった船舶職員を養成する学科です。三級海技士（機関）の第一種養成施設は、東京海洋大学、神戸大学、海技大学校、海上保安大学校、水産大学校と本校を含む5高専（鳥羽、富山、広島、大島、弓削）だけです。海技士は一級から六級まであり、三級海技士は上級資格であり、外航船員の士官として最低限必要な資格となっています。つまり、本校を卒業した学生は、就職してすぐに士官として働くことになります。もちろん、三級海技士の取得だけでは、一人前の船舶職員とはいえませんので、二級海技士、一級海技士の資格を取得し、必要な技能、技術を身につけていく必要があります。

本校に入学した商船学科の学生は、士官候補生であることを肝に銘じて、日々精進してもらいたいと考えております。商船学科は、他の商船系高専と協働で海洋人材の育成に関するプロジェクトを推進しています。これは、商船学科の学生が船社へ入社後に必要な技能を着実に身につけてもらい、海事技術者として有用な人材になってもらうことを目的としています。プロジェクトでは、グローバル力向上、技術革新に対応した教材開発、キャリア教育の実施、業界関係者との意見交換を基軸に事業を展開

しています。

本校は、グローバル力向上を目指したプロジェクトが主担当となっており、グローバル人材を育成するため、各校にグローバル教育拠点を整備し、英語教育補助員を採用しています。11月より、放課後に英会話など英語力向上に関する講座を開講しています。本校のグローバル教育拠点は2号館2階にあります。船舶職員として就職するには、外国人とコミュニケーションするため、英語は必須です。ぜひ利用して、自身の英語力の向上に役立ててもらえればと思っています。商船学科のみならず、情報機械システム工学科の学生も利用可能ですので、一度顔を出してみてください。

情報機械システム工学科の紹介



情報機械システム工学科長

出江 幸重

情報機械システム工学科は、「情報工学」「機械工学」「電気電子工学」の3つの分野について学ぶ学科です。定員80名（2クラス）であり、2019年に誕生した新学科であり、今年で3年目を迎えます。

情報機械システム工学科では、1年生をスタートアップと位置付け、工学リテラシーやプログラミングの基礎を学習しています。コンピュータの基本操作や論理的思考の基本的な部分を身につけるため

す。2、3年生は、情報・機械・電気電子の3分野の基礎を学習するフェーズです。4、5年生は応用フェーズと呼び、それらの基礎をもとに応用的な段階に入っていきます。応用フェーズではユニット制（専門性ユニット、志向性ユニット）を取り入れており、他にはない特徴の一つです。ユニット制により、学生の個性・特性に合わせて選択可能なオーダーメイド型カリキュラムを提供しています。専門性ユニットは、学生が希望する専門分野を選択し、効率よく学習していけるようになってきています。専門性ユニットには「データアナライズ」「モバイルアプリケーション」「スマートセンシング」「パワーエレクトロニクス」「エアロスペース」「ロボティクス」の6つを準備しています。また、志向性ユニットは、将来自分が目指す職種に応じて選択していくものです。「設計・開発」「生産技術」「顧客対応」「ビジネス基礎」「国際性」の5つのユニットがあります。来年度は一期生が4年生となるため、これらのユニットを選択し学習していくこととなります。

情報機械システム工学科のもう一つの特徴は、1～5年生までのすべての学年でPBL教育を実践していることです。学年を縦断し、かつ分野を横断したグループを構成し、地域の問題解決プロジェクトや学外コンテストに参加しています。地域の問題解決では、漁業・農業・観光業などを対象として、工学による課題解決を通じて技術者としての素養を高めるとともに地域産業を理解し活性化を目指しています。

一般教育科の紹介

一般教育科長

西川 雅堂

高等専門学校での教育は、高度な専門知識と技術を身に着けた技術者を養成することを目的としています。そこで一般教育科の教育課程は、技術者としての基本的な資質を身に着けるとともに、専門科目の土台となる基礎学力を身につけさせるため、人文・社会科学科目、自然科学系科目、外国語、保健体育や芸術といった基礎科目を通じて高等学校から大学の教養課程のレベルまで5年間で履修します。

また、一般教育科でのキャリア教育として「一般基礎教育」を1、2年生で設置しています。1年生では高専での学修活動に向けたオリエンテーションや中学校の内容の復習なども計画されています。さらにはコミュニケーション能力の向上や現代人としての視野を広めるため、外部講師を呼んで様々な講演を開催しています。例年、次にあげるような講演が企画されています。「ライフプランを考える」(日本FP協会)、「日本国憲法と弁護士の仕事」(三重県弁護士会)、「スマホ・ケータイ安全教室」(KDDI)、「性教育」、「デートDV防止啓発講座」(鳥羽市子育て支援室) など。

一般教育科では新たに3人の教員(数学の榎本先

生、物理の山中先生、英語のニコルソン先生)が赴任されました。一般教育科の教員総勢16名(再雇用2名含)で学生の皆さんの充実した学校生活をサポートしていきます。学生の皆さんには、未来の技術者として、何を求められているかを考えながら学習してください。また本校での学びの環境を存分に生かしていただきたいと思います。

専攻科の紹介



専攻科長

林 浩一

本校の専攻科には、商船学を学ぶ海事システム学専攻と、情報工学、電気電子工学、機械工学の3分野を学ぶ生産システム工学専攻の、2つの専攻が設けられています。両専攻ともに2年間の教育課程を修了し、且つ大学改革支援・学位授与機構の審査を受けて合格することで、学士の学位を取得することができます。入学定員は、海事システム学専攻が4名、生産システム工学専攻が8名となっております。両専攻ともに、本校の本科を卒業した学生が多くを占めている状況です。

今年度はこれまでにコロナウイルス感染拡大の影響を受けて、本科では一部の授業を遠隔で実施する等の対応を行ってきました。それに対して専攻科では、課程の中で多くの時間を占めている特別研究活動に対する影響等を考慮し、体調管理やマスクの着用、消毒の実施等のコロナウイルス感染防止策を徹底したうえで、対面での授業を行ってきました。したがって専攻科としてはコロナウイルス感染拡大による顕著な影響は見られませんでした。が、それでも毎日の体調チェックアプリへの入力をはじめ、コロナウイルス感染対策として学生に求められる様々な義務や制約の中での学校生活となり、やはり例年とは少し異なる雰囲気の中での授業や研究活動となっています。

研究活動の成果を発表する場としては、今年度は6月に生産システム工学専攻2年生の特別研究中間発表会、8月に海事システム学専攻2年生の特別研究発表会が開催され、いずれも多くの聴講者を交えて、活発な質疑応答や意見交換が行われました。今後は11月に生産システム工学専攻1年生の特別研究中間発表会、1月に生産システム工学専攻2年生の特別研究発表会が予定されています。

商船学科 機関コースの就職・進学状況について



商船学科長兼機関コース主任

窪田 祥朗

令和3年9月の商船学科機関コースの卒業生は15名でした。進路は、本校専攻科への進学が3名、就職が12名でした。就職は、全員が海上就職となっています。就職先は、オフショアエンジニアリング、イイノガストランスポートが各2名、鹿児島船舶、第一中央内航、近郵船舶管理、四国開発フェリー、津軽海峡フェリー、フェリーさんふらわあ、宇部興産海運、昭和日タンマリタイムに各1名でした。今年度の卒業生は、コロナ禍での就職活動となり、従来実施していた学力試験や面接試験などがオンラインによる選考に変更されるなど、採用企業としてもはじめての試みが多かった印象です。ただ、外航の採用試験はコロナ禍にもかかわらず、年々エントリーの時期が早くなっているため、外航就職希望者は早めに準備しておく必要があります。

就職活動は、4年生の3月から始まります。在校生の皆さんは、それまでに希望会社を絞り込み、会社訪問しながら、すぐにエントリーできるよう準備してください。また、3年生以下の学生はぜひ、希望する会社のインターンシップに4年生の夏休みを使って参加し、将来の自身の姿を思い描いてみてはいかがでしょうか。また、必要な資格は、学生のうちに取得することで就職に有利になり、就職後も安泰です。まさに、一石二鳥ですので、早めの取得をおすすめします。

商船学科航海コースの就職・進学状況について



商船学科航海コース主任

鈴木 治

今年度の就職・進学の状況はオンラインでの面接等が多かった中でも、概ね希望の進路を各自が見つけることができた状況です。しかし、第一希望の就職先、進学先となった学生は多くはありません。

航海コース主任は、企業の就職担当の方と、中学校の進路指導先生といった、進路に携わる人々と話をする機会が多くあります。企業の方は、基本的なことができて、自らなんでも進んで取り組んでいける人物で多少のことではへこたれない人がいいですね。人物重視のご意見です。また、中学校の先生は、この生徒はいろんなことをなんでも進んで取り組める子です。と、前向きな生徒が良いと推薦してくれています。いずれも成績の話は出てきません。

企業の方の中には「普通の人が欲しい」という方がいました。この「普通」の意味はとても深いのです。どの年代ともどんな人とも意思疎通が図れて、自分の仕事を遂行できるのが「普通」という意味です。つまり、業務を遂行するのに必要な学習面での能力と人間的な能力それぞれが必要ということを示しています。

高専生活の中で様々な面を通して「普通の人」となれるように、知識や経験を積む工夫をすると良いでしょう。

令和3年3月及び令和3年9月卒業生進路先一覧（順不同） 令和3年9月30日現在

商船学科

- 就職先 四国開発フェリー(株)、井本商運(株)、(株)フェリーさんふらわあ、サンエイ・マリ(株)、MOLマリン&エンジニアリング(株)、鹿児島船舶(株)、中央海運(株)、東京汽船(株)、東幸海運(株)、川近シップマネージメント(株)、水産研究・教育機構、福寿船舶(株)、早駒運輸(株)、オフショアエンジニアリング(株)、第一中央内航(株)、昭和日タンマリタイム(株)、近郵船舶管理(株)、イイノガストランスポート(株)、宇部興産海運(株)、津軽海峡フェリー(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、東京海洋大学海洋工学部

電子機械工学科

- 就職先 サントリーグループ、イオンディライト(株)、花王(株)、(株)飯田設計、旭電器工業(株)、ジャパンマテリアル(株)、廣瀬精工(株)、三菱電機メカトロニクスエンジニアリング(株)、ダイキンエレクトロ(株)、NTT東日本グループ会社〈エンジニア〉、松田工業(株)、キクカワエンタープライズ(株)、ダイキン工業(株)、ニプロファーマ(株)、日本ビソー(株)、日立ビルシステム、パナソニックLSエンジニアリング(株)、(株)マイスターエンジニアリング、(株)日本デキシー
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、豊橋技術科学大学、和歌山大学

制御情報工学科

- 就職先 花王(株)、ダイキン工業(株)、日通システム(株)、(株)NTTネオメイト、ネクストウェア(株)、(株)フタミ金型、(株)アイ・シー・エス、NTTコムエンジニアリング(株)、中部電力(株)、(株)マスマ、メタウォーター(株)、(株)FIXER、サントリースピリッツ(株)、トーテックアメニティ(株)、(株)ファインディックス、ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株)、(株)MIEテクノ、関西電力(株)、東ソー(株)、百五コンピュータソフト(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、(株)トヨタプロダクションエンジニアリング、(株)NTT-ME、シンフォニアテクノロジー(株)、住友電設(株)、(株)RS Technologies、御本製薬(株)、(株)NTTフィールドテクノ、富士通クラウドテクノロジー(株)、東海旅客鉄道(株)
- 進学先 鳥羽商船高等専門学校専攻科、長岡技術科学大学、信州大学

令和3年3月及び令和3年9月専攻科修了生進路先一覧（順不同） 令和3年9月30日現在

海事システム学専攻

- 就職先 (株)名門大洋フェリー、日本海洋事業(株)

生産システム工学専攻

- 就職先 村田機械(株)、ソフトバンク(株)、(株)アイエスイ、(株)東京ウエルズ、ニプロファーマ(株)、パナソニック(株)ライフソリューションズ社、東海旅客鉄道(株)、DMG森精機(株)、NTTコムソリューションズ(株)、ヤフー(株)、パナソニック(株)インダストリアルソリューションズ社
- 進学先 九州大学大学院

電子機械工学科の就職・進学状況について



電子機械工学科長

山下 晃司

今年度の電子機械工学科5年生は45名です。そのうち10名が進学、35名が就職を希望し、それぞれの進路に向けて活動を行っていました。その結果、10月の時点で進学希望者は10名全員、就職希望者は30名の進路が決定しています。

進学先は、豊橋技術科学大学4名、長岡技術科学大学2名、山口東京理科大学1名、本校専攻科3名です。全ての進学希望者が、国立の大学・高専の機械系または電気系の学科へ推薦入試で進学しています。

一方就職先の業種は、機械装置、電子制御機器、電子部品、製菓、特殊加工部品などの製造業や、電力や鉄道などのインフラ産業、など、多岐にわたっています。それぞれの企業では、設計や生産技術、加工技術、品質保証、保守などの業務において、中核的な人材になることが期待されています。

昨年は新型コロナウイルスによる緊急事態への対応などがあり、現5年生はインターンシップに参加できなかつたり、工場見学旅行が中止になったりと、就職に対する心構えや働く自分の将来像を描きにくい状況にありました。また、採用試験はオンラインでの面接試験が多くなり、新たな対応が必要とされています。

自分の将来像を明確にして進路を決定するには、社会状況の変化に気を配るとともに、自分の興味や、やりがいを見つめることが必要です。そのために、授業や課外活動、地域社会への参加など、日々の活動に真摯に向き合い、実際に行動して自分と社会に対する理解を深めていってほしいと思います。

制御情報工学科の就職・進学状況について



制御情報工学科長

溝口 卓哉

制御情報工学科5年生は47名が在籍しており、就職希望者が33名（内 女15）、進学希望者が14名（内 女0）となっています。11月末現在、進路が未確定の学生が就職希望で4名（内 これまで学校推薦で就職試験を受けた学生が1名）、進学希望で2名（専攻科の後期日程を受験予定）おります。県内の就職は11名で、そのうち8名が女子で、女子学生の県内就職の割合が多くなっています。進学は、大学が7名（豊橋技術大3、長岡技術大3、京都工芸繊維大1）、本校専攻科が5名決定しています。

本年度は、第4学年でのいろいろな状況により、進路決定が遅くなった学生が少なくなく、1杜目の受験での合格者が14名と例年より低い合格率になって現れました。この経験から、できるだけ早くに進路の方向を決めて準備することが大切であると考えます。

第4学年の夏季インターンシップへは、24名（25件）の参加がありました。実地で参加した学生が6名で、オンラインでの参加が18名（19件）となりました。期間中の感染状況の悪化により、数件の実地での開催が中止になり残念でしたが、多くの学生が参加でき、今後の進路決定のために大変役に立つものになると期待されます。

専攻科の進路について



専攻科長

林 浩一

専攻科を修了し学士の学位を取得すると、大学院への進学や、大学卒業以上の学歴が応募条件となっている企業等への就職等、進路選択の幅が広がります。専攻科の海事システム専攻は、9月に2名の学生が修了しました。その内の1人は、海洋調査や深海探査等を行う船舶の運航・管理業務を行っている会社へ、もう1人はフェリー会社へと、いずれも学生が希望する企業に就職しています。一方で生産システム工学専攻には現在10名の2年生が在籍しており、既に全員がそれぞれの専攻分野を生かすことができるIT企業やメーカー等、様々な業種の企業から内定をいただいています。なお大学院への進学者はいませんでした。

今年度はコロナウイルス感染拡大の影響を受けて、対面でのインターンシップを中止し、代わりにオンラインでのインターンシップを実施した企業が多かったように思います。そのこともあってか、学校を通してインターンシップに参加した学生は、両専攻ともにいませんでした。インターンシップは実際に企業の仕事を体験できる貴重な機会です。次年度からは学生に、これまでに以上に積極的な参加を呼び掛けていくことを考えています。

インターンシップ先 企業一覧（順不同） 令和3年9月30日現在

商船学科

福寿船舶(株)、(株)商船三井、日本郵船(株)、中部運輸局(中止)、グリーン SHIPPING(株)(中止)、ヤンマーエンジニアリング(株)(中止)

電子機械工学科・制御情報工学科

パナソニック(株)インダストリアルソリューションズ社、ダイキンエアテクノ(株)、キャノンマーケティングジャパン(株)、東京ガスパイプネットワーク(株)、富山高専専門学校

電子機械工学科

旭ダイヤモンド工業(株) 三重工場、(株)Link-U、富士石油(株)、中部電力(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、(株)日立ビルシステム、旭電器工業(株) 志摩工場、エース設計産業(株)、村田機械(株)、日本たばこ産業(株) 東海工場、(株)コスモス・コーポレーション 松阪事業所、(株)JAL エンジニアリング、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)レールテック、豊橋技術科学大学、三菱電機プラントエンジニアリング(株) 中部本部(中止)、扶桑工機(株)(中止)

制御情報工学科

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)、(株)UL Japan、京セラコミュニケーションシステム(株)、(株)jig.jp、(株)NTT-ME、デジタルテクノロジー(株)、イーエムテクノロジー(株)、旭化成(株)、江崎グリコ(株)、(株)メンバーズ、ダイキン工業(株)、(株)スターシステム、日本オーチス・エレベーター(株)、(株)NTTフィールドテクノ(中止)、(株)松阪電子計算センター(中止)、日東電工(株)(中止)、第一工業製薬(株)(中止)

学生の活躍

第9回気象観測コンテストで 最優秀賞・優秀賞受賞

制御情報工学科5年

園田 夢

私達はみかんの摘果を支援するアプリ『蜜です！』を作成し、12月21日に開催された第9回気象観測コンテストで最優秀賞を受賞しました。オンライン開催の為、事前に報告書類と動作中の動画を提出しました。

『蜜です！』は蜜柑の木をカメラで写すと蜜柑が映っている場所を学習済みAIが認識します。認識した蜜柑が重なるっている場所を摘果するように表示を行います。摘果は経験と勘が必要な為、アプリで補うことが可能になります。

また、同研究室チームの『アザミウマちゃんか？』は優秀賞を受賞しました。蜜柑の害虫であるアザミウマを学習済みAIでカウントするアプリで、農薬散布の指標が分かり、新規就農者の支援になります。

新型コロナウイルスの影響により、例年よりも作業開始が遅くなりました。急いで開発を進めなければならず、進捗管理がとても大変でした。提出ぎりぎりまで試行錯誤を行った為、W受賞ができた際はとても嬉しかったです。



第3回システム創成コンテストで 優秀賞受賞

制御情報工学科5年

上井 翔太

私たちはシステム創成コンテストに参加するために『避難所でのストレスを電気に変える自転車発電及び蓄電システム「チャリー君」』を開発しました。『チャリー君』は自作のエアギャップ発電機を自転車によって回転させ発電を行います。その発電された電力で、スマートフォンの充電やトイレのブロワーの回転、自転車を漕いでいる人のモチベーションを上げるためにどれだけ発電できたかを表示するディスプレイなどを動かすシステムです。一昨年、新型コロナウイルスの影響により、システム創成コンテストが中止になりました。今回の『自転車発電機』は2年の歳月をかけた悲願の作品となっています。前年度の『チャリー君』に発電機部分の新造やディスプレイの表示内容の改良などを行い、私たちのチームは優秀賞を受賞することが出来ました。現在は後輩が『チャリー君』の研究を引き継ぎ、更なる発電量の増加のために改良を続けています。



第3回システム創成コンテストで 生活環境対策創成賞受賞

制御情報工学科5年

石野 嵩登

室内のハウスダストの量や湿度を測定してwebブラウザ上で管理、状況下に合わせて加湿器を自動制御しながら地面を掃除する花粉掃除ロボットを作成しました。コロナ禍で学校に行けない日が多かったですが、オンラインで会議や進捗報告を行い、制限された中で自分たちができることは何かを考えて制作に励みました。

頑張ったところはロボットの調整とネットワークの構築です。ロボットが思った通りの動きをしにくれず、障害物にぶつかってしまうことが何度もあり、何度も微調整を重ねました。ネットワーク構築に関してはあまり知識がなかったので同級生や教員方にサポートしてもらい、作ることができました。

システム創成コンテストで特別賞を受賞することができ、頑張った甲斐があったなと嬉しく思います。ロボットとネットワークを利用したシステムを作ったことがきっかけでIoTに関する関心が高まり、卒業後の進路はIoTに関連したエンジニアになりたいと思いました。



DDCON2021で企業評価額5億円！

制御情報工学科5年

世古 渡紀也

私たちは、安価な海洋観測機とディープラーニングを用いた海苔養殖支援システム「NoRoT」を開発し、全国高専ディープラーニングコンテスト2021で第2位を獲得しました。こちらのコンテストは、事前に行われる技術審査と、本番で行うビジネスプレゼンにより、企業評価額と投資額を算出し順位を決定します。

私は昨年の9月頃から、このプロジェクトのリーダーとして取り組みました。何度も海苔養殖現場を訪問したり、生産者の方へヒアリングを行ったりと、沢山の方々に協力をして頂きながら進めました。

私たちが開発した「NoRoT」は、ディープラーニングを用いて、生産者の方に最適な養殖方法のアドバイスを行ったり、カモや魚の食害被害を軽減するシステムです。コロナ禍の中という事もあり、思うように開発が進まず沢山の苦労がありました。最後には企業評価額5億円、投資額1億円という評価をして頂き、とても良い経験をする事ができました。



WiCONでスマート水産大賞受賞

制御情報工学科5年

高木 晃太

私たちは、高専ワイヤレスIoTコンテスト2020で、伊勢湾の藻場の管理を行う藻場管理システムを開発し、スマート水産大賞を頂きました。このコンテストは予選を通過すると、研究費が支給されるのが特徴で、本格的な実証実験を実施する必要があります。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で対面作業が難しく、プロジェクトを進めるのに苦戦をしました。しかし、チームメンバーで常に情報共有を行ったり、オンライン会議を開いて一緒に作業を行ったことで、システムを完成させることができました。そして、地元の方の協力を得て、空中・水中ドローンを活用してデータ収集ができました。

私たちの開発した藻場管理システムとは、近年問題になっている藻場の減少を食い止めるために藻場を可視化するシステムです。藻場や海象データ等を蓄積・閲覧することができ、そのため、研究者や行政が分析に利用できるものです。これからのデータを集集・分析を続け、実際に活用されるシステムとなるように研究を進めていきます。



令和3年度高校総体に参加して

商船学科航海コース3年

加藤 怜

私たち少林寺拳法部は今年の夏に高校総体（インターハイ）に出場しました。出場した競技は男子単独演武、男子組演武、男子団体演武です。インターハイに出場するために、その前の三重県予選を通過するためにも練習を重ね、全国大会の予選で残るためにもさらに練習しました。大会のためにたくさんの練習を積み重ねたので、私といっしょに練習してくれた仲間には非常に感謝しています。お互いの良いところや悪いところを教えあったり、スマートフォンで撮影してもらった自分の演武を見たり、教官に指導してもらったりしながら、相手との距離やタイミングをつかんでいき、お互いに成長しながら練習に励みました。本番は緊張からかいつも通りの演武ができずに、結果としては惜しくも予選敗退となりましたが、自分にとってそれ以上の価値のある大会になりました。



木下 涼太

私たちは、全国高等学校専門学校プログラミングコンテスト第32回秋田大会の課題部門において、最優秀賞を受賞しました。「楽しく学び会える！」をテーマに「学魚養食」という、小中学生が養殖のいけすを遠隔で観察、お手伝いをすることで地元の養殖業に興味を持ってもらうシステムを開発しました。立案当初は私たち自身が養殖について全く知らなかったため、地元生産者の養殖場へ何度もお邪魔し、養殖の工程を一から見学させていただいたり出荷作業をお手伝いしたりしました。実際に養殖業に深く関わった経験を活かせるため、実用性の高いシステムを構築することができました。今後は本格的な運用を目指して開発を進め、このシステムを通じて養殖業の魅力を若い世代へ広めていきたいです。



深田 康太

今年も高専ロボットコンテストが開催されました。コロナ禍ということもあり、昨年と同じくオンラインでの開催となりました。今年のテーマは「超絶技巧(すごロボ)」です。チームごとの各々がすごい!と思う技をロボットがパフォーマンスしてオンラインで見てもらおうというルールです。

私たちは、ロボコン部として参加しました。ロボコン部は、一年生から四年生の学生たちが集まって、ロボットを作り上げます。私たちが、「ロボットの接客と料理をするスゴ技を見せよう」というコンセプトで製作を進めました。

今年は、多くの制限のなかでのロボコンになりました。まず、一番の活動期間である夏休み中に緊急宣言が発令されて、作業が全くできなかったところがありました。また、ロボコンの時はいつとも使わせてもらっている学校併設の工場も、今年は改装工事のため使えませんでした。このようなことがあり、想定通りのスケジュールに全く添えず、作業が困難を極めました。

ただ、できる限りで最大限のパフォーマンスをしようと全員で努力しました。メンバーの努力の甲斐もあって、なんとかカポボストラン」として接客ロボットとシェフロボットの二台を完成させることができました。結果、惜しくも表彰や全した。国大会出場権は得られなかったのですが、東海北陸地区大会では同率5位の評価をいただけました。全国大会出場ができませんでしたといえ、これまでの評価を得られたのは部員皆の努力の結果だと思っています。

今年は様々な試行錯誤を繰り返しての活動になりました。この経験を経に、来年こそは全国大会を目指していきたいです。



東海地区
高専体育大会

競 技	種 目	順位	学 生	全国大会
陸上競技	女子走高跳	2 位	J1B 松本 望	全国大会出場
柔道	男子個人戦(66kg級)	3 位	S2 渡邊 剛	
剣道	女子団体	準優勝	I4 中川 碧海 S2 山口 なづな S1 谷口 有咲	
バドミントン	男子団体	準優勝	M4 本田 健斗 M4 坂本 智之 I4 森田 慶 J3B 中川 一路 J3B 三鬼 将磨 J1B 西堀 楓牙	
	女子団体	準優勝	I4 井村 菜乃花 I4 林 連 I4 三浦 千明 J3B 藤原 綾乃 J1A 西川 英里子 J1B 松本 莉奈	
	男子個人シングルス	3 位	M4 本田 健斗	
	男子 200m自由形	1 位	J2A 宗政 雄士	全国大会出場
	男子 100m自由形	2 位	J2A 宗政 雄士	全国大会出場
水泳	女子 100m背泳ぎ	6 位	S2 中原 真白	
	女子 100m平泳ぎ	6 位	S2 武藤 希奈	
	女子 100m自由形	5 位	S2 中原 真白	
	女子 100m自由形	6 位	S1 井上 ひかる	
	男子 50m 自由形	6 位	SE3 谷中 快	
	男子 100mバタフライ	5 位	SE3 谷中 快	
	女子 200m個人メドレー	4 位	J1B 中井 梨愛	
	女子 100m背泳ぎ	4 位	J1B 中井 梨愛	

高専体育大会以外の大会

競技・大会名	成績等	学 生
令和3年度 全国高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技大会	男子団体演武 出場	SN3 赤井 海斗 J2A 西井 峻人
		SN3 岡本 真治 J2B 水谷 怜慈
		SN3 加藤 怜 J2B 山下 惺太
		SN3 木村 亮太
	男子組演武の部 出場	SN3 岡本 真治 SN3 木村 亮太
		SN3 加藤 怜 SN3 赤井 海斗
	男子個人演武の部 出場	J2B 水谷 怜慈

コンテスト実績一覧

アイデア対決・全国高等専門学校
ロボットコンテスト 2021 東海北陸地区大会

A チーム	奨励賞	I4 深田 康太	J3A 山本 純也	J3A 中村 優介
B チーム		M5 植村 颯太	M4 中岡 僚真	M4 徳山 亮哉

WiCON2021 (高専ワイヤレスIoT コンテスト)

nakakoga-lab	採扱・3月成果 報告予定	14 小山 凌 14 井上 仁 J3A 佐藤 慈恩 J3A 中村 優介
--------------	-----------------	--

第32回全国高専プログラミングコンテスト

課題部門 「学魚養殖」	文部科学大臣賞 最優秀賞	I5 木下 涼太 J3A 濱口 宝 J3A 正住 将太 J3B 姫子松 寛大 J3B 小山 飛翔
課題部門 「SEN-KEN」	優秀賞 (第2位)	I4 山北 峻佑 I4 安西 琉偉 J3B 中川 一路 J3B 井坂 美緒 J2A 里中 俊介
自由部門 「SUNKAI」	敢闘賞	I4 三島 爽詩 J3B 大畑 陽都 J3A 前田 優真 J3B 松尾 新大 J1B 西前 菜花
競技部門 「中古賞研究室」	準決勝進出	I4 松井 竣哉 I4 木下 功陽 I4 野田 瞬太

DCON2021（第2回全国高等専門学校
ディープラーニングコンテスト2021）

NORIoT	第2位(企業評価額5億) ウエスタンデジタル賞 AGC賞	I5 世古 渡紀也 I5 高木 晃太 I5 西尾 はるか J3A 中村 京祐 J3B 小野原 大空 J3A 寺田智哉
--------	------------------------------------	--

クラブ紹介

カッター部の紹介

商船学科2年

西川 蘭丸

こんにちは。カッター部主将の西川です。私たちカッター部は現在2年生7名、1年生10名の計17名で日々練習に励んでいます。カッター部は春・秋にかけては艇を出して練習し、艇が出せない冬場は筋トレ・体幹トレーニングなどを行っています。また、カッター部は先輩後輩間の仲が良く、しんどいながらも楽しい部活ですので興味がある方は是非一度見学に来てみてください。カッター部でしか出来ない体験もあるので、S科やJ科、寮生や通生誰でも大歓迎です。



先日行われた全国漕艇大会では2位という非常に悔しい結果となりましたが、しまいましたが、たくさんの方のサポートのおかげで、来年は良い機会となりました。来年度はこの悔しさを糧にA艇・B艇ともに優勝出来るようにこれから練習を頑張っていきたいと思っています。来年度の大会は鳥羽で開催されるので是非応援に来てください。

剣道部の紹介

制御情報工学科4年

中川 碧海

現在の剣道部の部員数は、5年生5名、4年生3名(女子1名)、3年生2名(女子1名)、2年生6名(女子1名)、1年生11名(女子4名)の計27名で高専に入ってから剣道を始めた部員は5名います。練習は月火木金の週4日、16時半〜18時半に行っています。

年間予定については高体連春季大会(4月)、高体連高校総体(5月)、東海地区高専大会(6月)、高校1年生大会(8月)、昇段試験(11月)、高体連秋季大会(11月)、高校剣道新人大会(1月)、全国高専剣道錬成大会(3月)に出場しています。

最近では学校のスケジュールに合わない大会もありますが、その中でも今年の東海地区大会では女子が団体戦で準優勝を果たしました。



短い練習時間の中ではありますが、量より質に重きをおき、部員一同それぞれに目標のために時間いっぱいまで練習をしています。剣道部に興味のある方は、1度剣道場へ見学しに来てください。

卓球部の紹介

情報機械システム工学科3年A組

寺田 智哉

私たち卓球部は現在26人で活動しています。最近では下級生が多く入部してきてくれたので、より活気づいてきました。毎週火曜日と木曜日の放課後に練習を行っています。外部コーチや、卓球経験のある教職員の方々にご指導していただいています。目標は全国高専大会に出場することです。また、3年生以下はインターハイ出場も目指しています。例年は主に7月にある高専大会、12月にある鳥羽市民大会に出場しています。

今年に開催された高専大会では結果を残すことはできなかったですが、個々の課題点を見つけることができ、強豪校の試合を見たりしていろいろ学びを得ることができたので、これを生かして日々練習に励んでいます。

卓球部は第一体育館2階で活動しているの、興味のある方はぜひ見学に来てみてください。



ESS部の紹介

商船学科航海コース5年

川浪 壮統

私たちESSは、英語で国際感覚を養うアクティビティやTOEIC、英検といった試験対策を行っています。私たちは入会しようとするあなたの英語力は問いません。苦手な英語を克服したい人や自身の英語力に更なる磨きをかけたい人など様々なメンバーが数多く所属しており、私たちはあなたに合ったアクティビティを用意しています！また、今年度より赴任されたネイティブスピーカーのニコルソン先生を招き、日々のアクティビティに多くの可能性をもたらしました！

具体的には、海外の教科書を用いたワークアウト、海学祭での出店や各国の習慣について調べ共有したりと積極的な活動を行ってきました。過去に世界のお菓子パーティーなども行い、メンバーによる企画も随時募集しています。どのアクティビティも楽しく学べ、最高にエキサイティングです！



「日本丸」での乗船実習

商船学科航海コース5年

三輪 恭也

私たちは令和2年の12月から三ヶ月間、海技教育機構の練習船「日本丸」で実習を行いました。

今回初めて、遠く陸地から離れる遠洋航海を体験しました。航海中は1日に4時間当直を2回行い、空いた時間は、六分儀で位置を求めたり、テストに備え船内での勉強をしました。そして次の日また当直に入るとい生活をしました。本当に寝る時間がなく、体力的にも、精神的にも大変でした。

そんな辛い実習を乗り越えられたのは仲間がいたからです。仲間と共に生活をし、当直では力を合わせ、助け合いました。遠洋航海中は節水生活をし、海水風呂など色々な制限がありました。しかし、大変だった思い出も仲間がいたから楽しいものになりました。

そして航海の道中には夜空を覆う満点の星、集団で泳ぐイルカ見たりするなど、普段陸上生活では経験できない貴重な体験をしました。

そして、ついに港に入港したときは、やっと到着したという安心感、こ

こまで頑張つてこられたという達成感を感じました。新型コロナウイルスの影響で、実習は2ヶ月間短縮されましたが、とても内容の濃い実習を送ることができました。

今回の実習で、航海士の大変さや苦勞を感じましたが、それと同時にやりがい、責任感などたくさんの魅力を発見することができました。

乗船したところは、何をしていたのかわからず不安でいっぱいでしたが、実習を通じて、たくさんの経験をし、成長することができました。今回の日本丸で培った経験を活かし、学生生活のラストパートを駆け抜けます。



「青雲丸」での乗船実習

商船学科機関コース5年

竹村 総一郎

私達は、4年生の後期に練習船「青雲丸」にて、12月1日から約3ヶ月間、乗船実習を行いました。本来であれば、10月1日から5ヶ月間、乗船実習を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で10月、11月は家庭学習となり、12月1日から実際に乗船しての実習となりました。乗船してからは、太平洋側の中国地方や九州地方が中心の航海でした。2年生の実習は弓削商船高専と富山高専の学生と一緒に、今回の実習は、2校以外にも広島商船高専と大島商船高専の学生も加わり、5高専での実習となりました。

実習では、前回の時よりも、専門的かつ実践的なことを学びました。具体的には、機器の名称や役割とともに、機器に異常がないか点検したり、機器の分解・組立てを自らの手で行ったりしました。座学だけでなく、実際に実物を見たり、触ったり五感を使って学ぶことができ、より深く理解できました。そして、入出港の際の手順など、何事もただ覚えるのではなく、流れを

一つ一つ理解しながら取り組むことで、将来の職務にとっても役に立つと感じました。

実習だけでなく、みんなで観光した鹿児島県の桜島や大分県の別府温泉は、特に忘れられない思い出となりました。約3ヶ月間一つの船で、多くの人と共に生活をし、楽しかったこともたくさんあり、辛く感じることもみんなで乗り越えることができました。

私はこの実習で学び、感じ、身に着けたことを就職した際にも機関士として生かしていきたいと思っています。



学生寮の紹介

寮務主事 橋爪 仙彦

暁寮、及び女子寮では、例年低学年は二人部屋での生活を経験し、集団生活の大切さを学びます。しかし、コロナ禍の影響もあり、ほとんどの寮生が同じ階の仲間の名前もわからず生活しているように見受けられます。10月には後期寮生会役員も新たに決定し、従来と異なる生活様式の対応について、定例会などの機会です話し合っています。後期は特に前期にほとんどできなかった寮内の行事を開催すべく寮生会役員は動き出しています。コロナウィルス感染症に留意しながら、いかに安心・安全に寮内の生活を充実したものにできるか取り組みを継続していきたいと思います。

暁寮の紹介

商船学科機関コース5年

小林 駿太

現在、暁寮には男子寮に173人、女子寮に27人の学生が住んでいます。寮での生活は、基本的に日課にしたがって進められます。平日の場合、1～3年生は、1日に3回巡検が行われます。4～5年生は、1日に1回巡検が行われます。食事につきましては、朝、昼、晩の3回を寮の食堂でとっています。このような日課にしたがって規則正しい生活を行なっています。

また、寮生がより生活しやすい環境を整えるために、毎週月曜日に寮生会、世話係学生、寮事務室の教官方でミーティングを行っています。

現在は、コロナ禍ということもあり団体生活である寮での生活は多くの規制を強いられています。その中でも、1～5年生が住みやすく、充実した学校生活を送ることができるよう寮生全員で力を合わせて生活しています。



寮内におけるコロナ対策について

商船学科航海コース5年

江口 佐代子

たくさんの方が生活する暁寮のコロナ対策を紹介します。

現在暁寮では、コロナ対策の一環として、マスクの着用、学校から寮に帰ってきた際の手洗いうがい、手指の消毒、入り口での体温チェックを徹底しています。また、2週間の行動記録の提出、体調チェックアプリの導入を寮生全員に求めています。これらを提出してもらうことで、自分自身が体調を把握するとともに、万が一寮生にコロナ感染者が発生しても寮で素早い対応を行えるようにしています。

安心して共同生活を送るには、寮生一人一人がコロナへの意識を持ち、感染対策を実行することが大切です。

寮生には、この感染対策を通じて「人を思いやる力」を身に付けてもらいたいと思っています。



寮行事予定

4	入寮式 新入寮生オリエンテーション 新入寮生と在寮生との対面式 (2021中止)	9	夏休み、開寮
	寮生集会(寮生会役員等選出)	10	寮生集会(寮生会役員等選出) 寮生防災訓練 (夜間・地震)
	寮生防災訓練 (火災)	11	寮生会役員校長面談 インフルエンザ予防接種 寮生クリスマス会
	新入寮生歓迎球技大会 (2021年は中止)	12	大掃除、閉寮前点検、閉寮式 寮生帰省、閉寮、閉寮点検、冬休み
5	新入寮生個人面談 寮生会役員校長面談 新入寮生部屋替え (2021年は中止)	1	冬休み、開寮
6	寮生歓迎バーベキュー大会 (2021年は中止)	2	卒業を祝う会 寮生部屋替え(全学年)、寮生大掃除、閉寮前点検、閉寮式 1～4年生寮生帰省閉寮(10:00)、S5寮生退寮式、春休み
7	七夕行事	3	春休み
8	閉寮式 寮生部屋替え (全学年)、寮生大掃除、S4退寮式、閉寮前点検 寮生帰省、閉寮、閉寮点検、夏休み		

国際交流プログラム



KCC国際インターンシップ

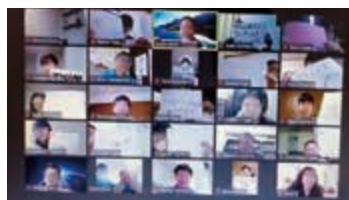
商船学科航海コース3年 久保 綾菜

私は2月20日から3月13日までの毎週土曜日朝9:00から10:30 (JST) の日程で計4日間、オンライン上で Kauli Community College (KCC) 国際インターンシップに参加しました。

研修の主な内容は、1週目から順に「自己紹介」、「ハワイのカウアイ島について」、「ポリネシアの歴史」、「canoe plants」でした。KCCの教官方が、現地の生活の様子や canoe plants の実物を撮影してくれたさったり、自己紹介やポリネシアの歴史の研修も動画やクイズ形式で行われ楽しく参加できました。またオンライン掲示板「Padlet」も活用することで、英作文の練習や文章での交流も出来ました。

英語で流れていく説明や指示は聞き取るので精一杯でしたが、それ以上に初めて耳にする話や現地の学生や他商船の学生との交流で楽しさがいっぱいでした。他の方の英会話を聞いて、私ももっと自由に会話できるようにになりたいと思ったので、これから英語学習に力を入れていこうと思います。

今回の研修はコロナによりオンラインでの開催でしたが、現地の良さや国際交流の楽しさを沢山知ることができました。現地開催、オンライン開催問わず楽しめるので、興味が生まれたならば是非参加してみてください。



日タイ高校生サイエンスフェア

制御情報工学科4年 林 蓮

私たちは日タイ高校生サイエンスフェア2020に参加しました。当初の予定ではタイのプリンス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・トラン校で開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催となりました。このイベントには日本とタイから合わせて65の高校、331名が参加しました。

イベントには、コンピュータ、生物学、化学、数学、物理の5つの部門があり、私たちはコンピュータ部門に参加しました。1日目は、開会式から始まり、YouTubeを使用したフィードバック、サイエンスアクティビティ、ポスター発表が行われました。2日目は、部門ごとにグループを分けられ、それぞれのグループで口頭発表を行いました。私たちは過去に作成した鳥羽市の新たな観光システムについて口頭で発表を行いました。

今回はオンライン留学という形での開催になりましたが、コロナが収まったら現地留学にも行きたいと思います。



教員の活躍

東京2020オリンピックに
国内技術役員(NTO)として従事

一般教育科 教授 山田 英生

令和3年7月23日(金)から同年8月8日(日)に開催された東京2020オリンピックに、国内技術役員(National Technical Official (NTO))として、陸上競技(競歩・マラソン・札幌)の審判業務等に従事しました。

札幌では、選手やチームスタッフ、競技役員はホテルに隔離され、競技会場や練習会場への移動もすべてバス移動で、外部との接触は、ほほえない状況でした。

本業務に従事したことについて、和泉校長へ以下のように報告しました。「平和の祭典に従事して、やり遂げたことを誇りに思います。また、様々な困難を共に乗り越えた国内外の素晴らしい仲間たちを誇りに思います。東京オリンピックの開催にご協力くださった皆様、応援してくださった皆様、見守ってくださった皆様、医療従事者の皆様、そして何より、どのような状況でもベストを尽くすことの大切さを示してくれたアスリートの皆様に感謝いたします。3年後、パリオリンピックが開催できるような平和な世界であるために、スポーツの世界から、微力ながら貢献していくつもりです。」



(左) 山田教員、(右) 和泉校長

令和三年度 学校行事

学生主事 坂牧 孝規

学生主事室は、afterコロナの時代に向け、リモート教育ツールを活用し、学生の視点に立った学生生活支援体制の構築を目指しています。

リーダーズトレーニング

9月25日(土)に、鳥羽商船高等専門学校と鈴鹿工業高等専門学校共催によるリーダーズトレーニングが、高度化推進経費事業の支援を受けリモート形式で開催されました。

リーダーズトレーニングは、本校校長が掲げる「他人の個性を認め、尊重すること」の学生への定着を目標に、学生がリーダーとしての考え方の柔軟性を培うことができるように、それぞれの人の考え方の違いを知り、ネットワークを介したコミュニケーションの難しさを、ネットワーク上のグループワークにより体験します。

本年度のプログラムは、「SDGsの視点を取り入れた学生のコミュニケーション力とリーダーシップ力の養成」を目的に、SNSを介した意思決定の過程で生じる諸問題への予防学習を行いました。プログラムは、午前のSDGsの解説と、本校スクールカウンセラーである臨床心理士の宗田美名子先生による「他人を尊重したコミュニケーションの基本」に関する講演と、午後の「グループメンバーの価値観・多様

性を認め、協力して目標達成を行うリーダー力の養成」のためのグループワークから構成されています。学校、学科、学年が異なるメンバーによるグループワークを、インターネットを介して実施することは、学生にとって有意義であったようです。また、包摂的で誰ひとり取り残さないとするSDGsの精神もグループワークにおける意思決定に反映されていました。

今後、リーダーズトレーニングで実施したプログラムを、必ずしもリーダーになることを希望しない学生に対しても、平等にトレーニングを受けられるように広く学生指導に展開し、SNSにおける「いじめ」防止教育に役立てていきたいと考えています。

厚生補導講演会

11月23日(火)に、厚生補導講演会「薬物乱用と少年法改正」を、三重県警察鳥羽警察署にご協力を頂き、生活安全課係長の鈴木裕介様を講師にお迎えし、リモートで開催しました。

令和4年4月1日に、改正民法、改正少年法が施行されます。これは、学生の皆さんの生活に直接関係があるため、ご家族の皆様にもご視聴していただけるように、休日にネット配信しました。鳥羽警察署のご協力により、12月末まで、講演会を視聴できるようにしていますので、是非、ご家族の皆様も学生と一緒にご視聴をお願いします。

海学祭

12月4日(土)、5日(日)に、海学祭が、「NO THEME」をテーマに開催されました。このテーマは、新型コロナウイルスの感染拡大による学生の自主性の低下や、思うように活動ができない状況に対して、それぞれの学生が自分自身のテーマを持つてほしいとの願いが込められています。

今年の海学祭も、一般の人のご来場についてはご遠慮いただき、学生は登校あるいはWebによる参加となりました。ライブ、ダンス、コンテスト、抽選会などのイベントは、第一体育館で開催されるとともに、YouTube LiveとTeams Liveにより配信が行われ、外部からの視聴が可能となりました。体育館の入場者数の上限を100名としていましたが、イベント毎に入れ替えが必要となる状況で大変盛況でした。今年は、ネット配信のための映像コンテンツの企画が新たに加わり、鈴鹿工業高等専門学校からの応募もありました。

海学祭のパンフレットもWeb化され、ポスターのQRコードから閲覧できるようになっていました。学生たちには、挑戦的な新たな配信技術の習得を含め、Afterコロナに向けたNew Normalな海学祭が見えついているようでした。

校内就職支援セミナー

12月8日(水)、9日(木)に、Webによる校内就職支援セミナーが開

催されました。102社の企業の参加がありました。就職活動においても、リモートによるセミナー開催や、面接が一般化しています。学生の皆さんには、新しい方法で、新しい社会を生き抜く活力を身に付けてもらいたいと考えています。



海学祭 Web
パンフレット



卒業式及び修了式の挙行について

令和3年3月14日（日）に令和2年度第32回電子機械工学科及び第29回制御情報工学科卒業証書授与式並びに第15回専攻科（生産システム工学専攻）修了証書授与式を、令和3年9月23日（木）に第50回商船学科卒業証書授与式並びに第14回専攻科（海事システム学専攻）修了証書授与式を挙行政いたしました。

卒業生・修了生は鳥羽商船高専での思い出を胸に、晴れやかな姿で本校を巣立っていきました。



商船学科卒業式の様子



工業系学科卒業式の様子

公開講座・出前授業実施

本校では今年度も、小中学生を対象に学びの機会を提供すること・鳥羽商船の魅力伝えることを目的として、公開講座「サイテクランド2021」を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった講座もありましたが、今年度は、伊勢・鳥羽・志摩地区を中心に約80名の小中学生に参加していただきました。各講座の受講者は講師の説明を熱心に聞き、意欲的に講座に取り組んでいました。

また、出前授業では依頼があった伊勢・鳥羽市内の小中学校等を訪問し、プログラミング講習や、オリジナル下敷き作成など、普段経験することができない授業を体験していただきました。このほかに、鳥羽市内の小学校2校からの依頼で、地元の高等教育の現場を見学する目的で社会見学として本校に来訪されました。進路として高専を知っていただく良い機会となりました。



親子で工作（ソーラーで動くおもちゃ工作）

公開講座一覧 サイテクランド in 鳥羽商船高専 2021

講座名称	開催日
船員の仕事 in 鳥羽商船（鳥羽クルーズ）	7月31日（土）
親子で工作（ソーラーで動くおもちゃ工作）	8月6日（金）
レーザー加工機でモノづくり	8月7日（土） 8月28日（土）※
おもしろ理科実験	8月19日（木）
IchigoJamでマイコンプログラミング（U16プログラミングコンテスト三重大会事前講習会）	8月20日（金） 8月21日（土）※
3Dプリンタ、3D CADでオリジナルグッズを作ろう	8月21日（土）※・8月22日（日）※ 8月28日（土）※・8月29日（日）※
レゴロボットを作ろう	8月23日（月）※・8月24日（火）※
英語多読講座	8月24日（火）※
micro:bitで簡単プログラミング	8月25日（水）※

※は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました

出前授業一覧

講座名称	開催日
IchigoJamで簡単プログラミング	7月12日（月） 8月17日（火）・8月18日（水） 10月23日（土） 11月6日（土）
タブレット端末を活用したプログラミング学習	10月13日（水）
オリジナル下敷きを作ろう	10月30日（土）



編集後記



本年度も、昨年度から引き続き学校行事をはじめ様々な予定変更に合わせています。そのような中、今回も無事に学校だより第93号を発行するに至り、執筆・編集他、皆様のご協力に感謝しております。本年もたくさんの学生の活躍があり、紙面の都合で紹介できなかったイベントや活動もたくさんありましたが、学生活動の雰囲気は伝わったのではないかと思います。ほかにも学校通信、進路の報告などいろいろな記事がありますので、合わせてお目通しいただければ幸いです。（澤田記）

